

# 巻頭言

社会福祉法人 かがわ総合リハビリテーション事業団

理事長 中塚 洋一

この度、かがわ総合リハビリテーションセンター雑誌第4号を発刊できましたことを、大変喜ばしく思います。センター職員の皆さんの頑張りの成果です。今回は第3号と同じ20題の投稿となっています。年1回開催していますセンター内の研究会での報告や各種の学会、研究会での発表を基に論文としてまとめたものです。筆頭著者でみると、医局・診療部からの5題、看護・療育部からの5題、リハビリテーション部からの5題があります。診療部の歯科から3題の投稿があり、これは障害者歯科センター構想の追い風になると考えます。また、福祉部門である地域生活支援部からも5題の投稿があり、相談支援員、体育指導員、臨床心理士、理学療法士、就労支援員の論文があります。特に、福祉センター長兼副病院長の河井信行による脳外傷後の高次脳機能障害に関する論文は詳細で意義深く、彼のライフワークの集大成を感じさせるものです。他の19題の論文は、いずれもそれぞれの職種にとって現在の課題や成果を論じたものです。考察したこれらの問題点を念頭に置き、日々の業務に励んでいただきたいと思っています。

平成29年11月1日現在、当センターの職員数は390名になりました。ここ数年、利用者に対するより良いリハビリテーションの提供のために、療法士及び看護師を主に新規採用を増やして参りました。また、センターを利用される方の数も徐々に増加しています。しかし、新採用の職員が他部署の仕事内容を十分理解できているかどうか疑問です。本誌を発行することは、センター内の他部署の業務内容を知ることになり、さらに自らの業務に対するモチベーションの向上につながることを期待しています。

本年12月には現在建設中の回復期リハビリテーション病棟と療養介護施設の新病棟が完成いたします。病院部門でより多くの方々のご利用が可能になり、サービスの向上とあわせてご期待に沿えるのではないかと考えています。

当センターは平成18年4月に香川県より7年間の指定管理者に指定され、さらに平成25年4月より新たに第2期の指定管理者となっています。今後とも利用者へのサービス向上と経営改善、効率化を目指さなければなりません。リハビリテーションマインドを持ったセンター職員の更なる奮起をお願いします。

このセンター雑誌をお届けする関係機関、関係者の皆様には、当センターが行っているリハビリテーションへの理解を深めていただく契機になるかと思えます。今後ともご指導、ご鞭撻の程、よろしくお願い致します。

平成29年11月